

「元気いっぱい・笑顔いっぱい」

特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

**とれたて直送便**

その1「風呂敷の話」

子どもに「応える」というと、「何かをする」ことに気持ちが向かいがちです。しかし、子どもの状態に応じて「やらないで置く」ということも大切な応え方です。子どもが疲れているとき、じっと何かに集中しているときは、そっとしておくという、子どもの状態に合わせた柔軟な対応も必要です。

それは、相手（包むもの）の状態に合わせて大きくも小さくもなる『風呂敷』に通じるところがあります。『風呂敷』は、出番が来るまで折りたたまれてそっと控えています。必要とならば、ぱっと広げて用途に合わせていろいろなものを柔軟に包むことができます。『風呂敷』は、「適切な応じ方」を体現しているように思います。『風呂敷』のように、いつでもどこでも子どもの状態に合わせた「応え方」をしたいものです。

ちなみに、私は旅行の際、便利で頼れる『風呂敷』をいつもカバンに入れてしています。(๖)

その2「次にやることを伝える」

ある園での一コマ。園庭に鯉のぼりを飾っていますが、お部屋からは見えません。そこで、先生が「今日はお外の鯉のぼりは泳いでいるかな。外の木の枝が揺れているか見て」と、子どもたちに問い掛けました。それを確かめるために、Kさんは窓の近くに移動して、「先生、木の枝や葉っぱが動いてるよ」と教えてくれました。先生は「戻りなさい」「立ち歩いてはいけません」と叱るのではなく、「Kさんありがとう。それでは鯉のぼりの歌を歌うよ」と、次にやることを伝えました。もちろん、Kさんはスーッとみんなの中に戻り、楽しく歌い始めました。

先生は、立ち歩いた不適切な行動を、「ありがとう」と言いながら、適切な行動にすり替えたのです。正しさよりも優しさが大事です。



その3「ただいま」

NHKEテレ「みつけた！」の放送開始15周年を記念して、トータス松本さんが新曲「ただいま！」を書き下ろしました。「子どもたちにとって、この番組がいつでも帰ってこられる、安心できる場所であるように」、そんな思いが込められているようです。

歌詞の一部を紹介します。

ただいまの「た」は楽しいの「た」	ただいまの「だ」は大好きの「だ」
ただいまの「い」はいつもの「い」	ただいまの「ま」は待ってての「ま」

子どもは「ただいま、今日も楽しかったよ」、「おかえり、待ってたよ」と、笑顔で迎えてくれる家族と、おうちご飯が大好きです。

速報「保護者応援ガイド」がもうすぐ完成！



子どもの関わり方に不安を感じている、就学先について悩んでいる、医療機関を受診するように言われた、子どもを可愛いと思えない、いつもイライラして子どもを叱っているなど、保護者が一人で悩みを抱えているケースが増えています。また、親子の愛着形成がうまくできず、子どもの問題行動につながっているケースも多いように感じています。

そこで、保護者が少しでも肩の力を抜いて子どもと向き合えるように、「保護者応援ガイド」（仮称）を作成中です。PTAや学級懇談、保護者面談等で配付、活用してもらえるとうれしいです。5月中に無料配信する予定です。お楽しみに！(๖)